

Masaki Kato Exhibition

古くて新しい数式が映し出すモノ

映し出すモノ



隣同士の点を、三角形を作りながらつないでみてください。

2022.4.2 sat — 4.30 sat

会場 | 古民家いなえ 入場無料 / 予約不要 開場日 | 木、金、土、日曜日 (祝日開場) 時間 | 11:00 — 17:00

# 江戸が見た世界、現在が見ている世界、そして未来が見る世界

これまでに世界は、常に大きく変容してきた…

数百年前までは機械など存在せず、多くの人たちが田畑を耕して生活していた。数十年前まではコンピュータやインターネットが存在せず、瞬時に世界中の人と連絡を取り合うことができなかった。テクノロジーの進化によって、人間と自然との関わりも絶えず変化し続けている。

まるで自然からのしっぺ返しかのよう、COVID-19によって世界はまた様変わりをしている。

AIや量子コンピュータの登場は、現代社会に更なる変貌をもたらすであろう。

それに対し数式は、紀元前から人類には無くてはならない存在であり、時代と共にアップデートされつつも核となる概念は普遍的である。この数式という普遍的なモノを通して映し出される、過去・現在・未来が見る世界を追体験してもらいたい。

—— 加藤雅貴

## 企画 1

江戸時代から現代、そして未来までの世界の見方の変化を、直線や三角形から量子的な(波)への移り変わりで表現し、ホログラムで投影する作品を展示します

## 企画 2

ロボットアームが算木を用いて数式を解く展示から、日本古来の「和算の美」と「現代のテクノロジーの融合」を体験いただけます

## Workshop

物理学研究員の顔も持つアーティストと一緒に、数式の美しさを体験するワークショップを開催します。sin, cosの波の重ね合わせによって変換されたご自身の顔を、スマートフォンと手作りした投影装置を使ってホログラムで立体的に映し出します。

## 4月10日(日)

午前の部 10:30~ / 午後の部 13:30~

(所要時間 1時間半ほど)

- 開催場所 佐原町並み交流館2F 研修室
- 対象年齢 中学生以上
- 参加費用 学生500円 / 一般1,000円
- お申し込み 下の公式HPからお申し込みください
- お持ちもの スマートフォン  
お持ちでない方には会場で貸し出しますので、お申込の際にその旨をご記載ください。  
(数に限りがあります。)

## Artist Profile

### 加藤雅貴 Masaki Kato

研究者 / メディアアーティスト / TikToker (TikTok 厳選クリエイター)

ダ・ヴィンチに代表されるルネサンス期のように、芸術と科学の垣根がない社会を作りたいと考え、物理学に関する研究を行いながら、数式を用いたメディアアート作品群(数式美術館)を制作している。

TikTok 公式 PR 動画に選出 (渋谷街頭ビジョン、2022)

SICF22 展示 (Spiral、東京、2021)

山口情報芸術センター (YCAM) 展示 (山口、2021)

SICF21 展示 (Spiral、東京、2020)

SHIBUYA 100BANCH ガレージプログラム採択 (東京、2019)

## 古民家いなえ

〒287-0003 千葉県香取市佐原イ 511

アクセス | JR 佐原駅より徒歩 10 分 / 東関東自動車道 佐原香取 IC より約 5 分

- 主催 佐原みらい運河株式会社
- 協賛 株式会社エヌアイディ
- 企画協力 Color Lounge Art 株式会社、特定非営利活動法人佐原アカデミア



公式 HP

空き駐車場の情報も  
ご確認いただけます